

令和4年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標1 文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る

施策の方向性			関係課 (集約・報告)	令和４年度		令和４年度		評価			課題と今後の方向性
				取組内容	実施区分	取組結果・実績数値	R2	R3	R4		
基本方針① 気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。	丹波市(県を含む)ならではの文化ホールイベントの充実	■市民のニーズや目的に合った特色ある文化ホールイベントの充実を図る。	丹波の森公苑	●丹波の森公苑(県)主催自主事業、シュールベルティアードたんば(ホールコンサート、街角コンサート、ふるさと音楽ひろば、キン・コン・カン・コンサート)を実施する。	継続	自主事業1回/全3回 【シュールベルティアードたんば】 ・ホールコンサート1事業(ガラコンサート11/19)202人／R3:1事308人 ・街角コンサート6会場／R3:2会場 ・ふるさと音楽ひろば5校／市内小学校／R3:8校/市内小学校 ・キン・コン・カンコンサート1校／市内高校／R3:2校		B	B	B	ホール利用回数がコロナ禍前の水準に戻っている。シュールベルティアードたんばもR3年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止するコンサートもあったが、街角コンサートやふるさと音楽ひろばの実施も増えつつある。今後も、ウィズコロナ社会を見据え、積極的なホール利用を図り、活性化を進める。
			文化・スポーツ課	●文化ホール自主事業、アマチュアアーティスト育成支援事業、映画会、ピアノ試奏会等の事業を実施する。	継続	自主事業9事業/R3:8事業 ・アマチュアアーティスト育成支援事業 4フェスタ実施/R3:4フェスタ実施(内2つは無観客でYoutube配信) ・映画会:3回/R3:3回 ・ピアノ試奏会3回実施 55日間 255時間 第65回:90名 第66回:76名 第67回:89名 ／R3:2回実施 24日開催 122時間		B	A	A	アマチュアアーティスト育成支援事業をはじめ、本市ならではの文化ホールイベントができています。今後も継続して実施する。
	市民の作品展示機会の提供	■気軽に植野記念美術館に行けるように、作品発表をしたい方に展示の機会を提供する。	植野記念美術館	●美術館の2F研修室ギャラリーを利用して作品を発表する機会を提供する。	継続	・研修室ギャラリー使用:6日間 (「丹波市ゆかりの美術作家たち 第4回UEBI ART展 荒木孝典」 令和5.3.7(火)～3.12(日)		A	A	A	今後も市民の作品展示機会の提供のため、UEBI ART展を企画する。
	鑑賞・体験がしやすい環境の充実	■文化ホールイベント(講演会等含む)での手話通訳・要約筆記・託児所等の充実を図り、鑑賞・体験がしやすい環境を整える。	丹波の森公苑	●必要に応じて手話通訳・要約筆記の導入、託児所の設置を行う。	継続	・手話通訳(自主事業0回)総事業数1回、(貸館事業0回)／総事業数3回 ・要約筆記(自主事業0回)総事業数1回、(貸館事業0回)／総事業数3回 ・託児所(自主事業0回)総事業数1回、(貸館事業0回)／総事業数3回		C	C	D	令和4年度はホール耐震化工事のため、ほぼホールの利用がなかった。ホールイベントの内容等に応じ、必要がある場合には手話通訳等の導入を図っていく。
			文化・スポーツ課 ※丹波市	●必要に応じて手話通訳・要約筆記の導入、託児所の設置を行う。	継続	・手話通訳(市主催事業 4回)／総事業数 41回 ・要約筆記(市主催事業 4回)／総事業数 41回 ・託児所(市主催事業 0回)／総事業数 41回		D	D	D	子育て世代を対象とした講演会を開催する場合など、必要に応じて託児所の設置を行う。講演会の時、手話や要約筆記をつけることは、合理的配慮の取組となるため、今後は増えていくと思われるが、自主事業においても、必要に応じて手話通訳と要約筆記の配置を検討する。
			文化・スポーツ課 ※団体	●必要に応じて手話通訳・要約筆記の導入、託児所の設置を行う。	継続	・手話通訳(貸館事業 0回)／総事業数 48回 ・要約筆記(貸館事業 0回)／総事業数 48回 ・託児所(貸館事業 0回)／総事業数 48回		D	D	D	子育て世代を対象とした講演会を開催する場合など、必要に応じて託児所の設置を行う。講演会の時、手話や要約筆記をつけることは、合理的配慮の取組となるため、今後は増えていくと思われるが、自主事業においても、必要に応じて手話通訳と要約筆記の配置を検討する。
基本方針② 市民自らが丹波市の文化芸術の良さを再認識する。	市民に対する周知事業の推進	■10ヶ寺もみじめぐり事業等、市内の文化芸術を再認識できるような取組の充実をさらに進める。	観光課 ※観光協会 ※観光課	●10ヶ寺もみじめぐり事業等、市内の文化芸術を再確認できるような取組みを継続する(丹波市観光協会) ・観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信等(観光課)	継続	・もみじめぐりは約79,000人が参加。 ・観光サイト「SaturdayTamba」のHP記事は約月2件、Instagramは通常は約週1件、11月は約週4件で更新しており、フォロワー数は年度開始時約2,600から年度終了時に約3,200に増やすことができた。		B	B	B	・もみじめぐり参加人数がコロナ禍のR3から減少しており、増加させる取組が必要である。 ・多様な情報発信手段は必要であり、SNS、HP、紙媒体の発信を継続する。より効果的な発信とするためにはフォロワーを増やすこと、HPはサイトビュー数を増やすことが課題。
	音楽コンサート事業の充実	■丹波の森 国際音楽祭 シュールベルティアードたんば(街角コンサート)の充実を図る。	丹波の森公苑	●シュールベルティアードたんば「街角コンサート」を実施する。	継続	【シュールベルティアードたんば】 ・街角コンサート 市内4か所(水上、山南、市島、柏原)で開催		D	D	B	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、R3年度は2会場のみの開催となったが、R4年度は、新型コロナウイルス感染症対策が進む中、丹波篠山市を含め10開場で開催した。今後とも、引き続き、街角コンサートを積極的に開催していく。
	情報発信力の強化	■文化芸術について、自治協議会や文化継承の活動に取り組む団体情報や活動情報等を一元的に発信できる仕組みを構築し、市民が文化芸術活動に触れる機会を増やす。	市民プラザ (市民活動支援センター)	●HP及び掲示物を充実させ、団体の活動内容や情報の発信を強化する。	継続	各施設とも老朽化が進み設備等の不具合が多くなっていることから、個別施設計画に基づき計画的に大規模改修、長寿命化工事を行っていく必要がある。 予防保全を基本として設備の更新を計画的に実施する。		D	D	B	・展示ブースのスペースが限られてるため、必然的にシンプルなレイアウトとなってしまう。 ・自治協新聞を市民プラザの掲示板にて照会するだけでなく、HPでも閲覧できるようにしたこと、地区外の活動情報を広く照会できるようになった。
	地域づくり事業の支援	■丹波市地域づくり交付金、丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金等を活用し、地域における歴史や文化芸術活動を継承するために、地域独自の取組を支援する。	市民活動課	●各自治協議会での歴史をめぐる活動や文化芸術活動にかかる活動に地域づくり交付金や丹波市活躍市民におけるまちづくり事業応援補助金等により支援を行う。	継続	・自治協議会の歴史をめぐる活動支援(地域づくり交付金) 7自治協 ・自治協議会の文化祭等の活動支援(地域づくり交付金) 8自治協		D	A	A	新型コロナの影響により開催規模を見直した事業もあるが、地域独自の取組を継続して実施され、住民が歴史・文化芸術に触れる機会の提供につながっている。 ・歴史をめぐる活動(柏原、遠阪、黒井、和田、竹田、吉見、美和) ・文化祭等の活動支援(柏原、新井、生郷、沼貫、佐治、船城、上久下、前山)

基本目標1 文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る

基本方針③ 県と市の連携を進める。	県市連絡会の開催	■イベントに適した時期や事業内容が重なるため、年3回程度、県市連絡会を開催し、可能な限り連絡調整を行う。	文化・スポーツ課 ※丹波の森公苑 ※丹波市	●4月、8月、12月に県市連絡会を開催し、年間の事業スケジュールの確認調整や、開催事業内容の確認、施設の管理運営に関する情報共有を行い、全体の事業バランスを可能な限り調整する。	継続	・連絡会の開催回数0回/前3回 ※未実施	D	D	D	県と市と連携し、情報共有しながら、地域の芸術文化が発展につながるような取組を考える。
	市外のアーティスト等の舞台公演の開催	■他市で活動する劇団やアーティストの舞台公演の開催を検討する。	文化・スポーツ課	●豊岡市の芸術祭と連携し、平田オリザ氏が主宰する劇団「青年団」の丹波市公演実現に向け、具体的調整を行う。 ●他市で活動が盛んな団体やアーティストの調査を行う。	継続	・豊岡市との事務調整会議の開催 0回 ※未実施 ・県下、他市の団体調査数 0団体 ※未実施	D	D	D	豊岡市や他市の文化芸術活動が盛んな団体やアーティストを調査、把握する。
	美術展・展覧会の充実	■丹波アートコンペティション等の展覧会で、他市展覧会の受賞作品交流展の開催を検討する。	文化・スポーツ課 ※植野記念美術館	●展覧会が終了している他市を調査し、受賞作家の情報提供と、交流展を通して他市との文化交流の基盤整備を行う。	継続	・他市の展覧会調査 0件 ※未実施 ・他市との交流展の実現に向けて検討する。※未実施	D	D	D	丹波アートコンペティションの事業として、展覧会時に他市との交流展を考えているが、その展示スペースの確保が困難な状況。 時期をずらす、会場を変えるなど検討する。 また、他市の展覧会も調査し、参考にしながらよりよい展覧会を開催する。
	市外のアマチュア出演者の参加促進	■アマチュアアーティスト育成支援事業に市外出演者の参加を促し、市内出演者や観客との交流やネットワークづくりを行う。	文化・スポーツ課	●市内外出演者(団体)のプロフィールや情報(FBやHP)を公開し、観客が直接出演者(団体)とHPやSNSを通じたネットワークづくりに取り組む。	継続	・団体情報公開承認団体数 0団体 ※未実施 ・HP/SNS等情報発信協力団体 0団体 ※未実施	D	D	D	アマチュアアーティスト育成支援事業は、市内出演者だけでなく、市外からの参加もある。互いに交流していくために、舞台出演団体の登録を行い、SNS等を利用した団体のPRや、登録団体のHPを作るなどネットワークづくりに取り組む。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった

令和4年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

施策の方向性			関係課 (集約・報告)	令和4年度			令和4年度		評価			課題と今後の方向性
				取組内容			実施区分	取組結果・実績数値	R2	R3	R4	
基本方針① 文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。	文化芸術活動者の育成	■団体の活動を若い世代に発信し、活動者の育成を行う。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※関係団体	●丹波文化団体協議会、文化協会、郷土民踊保存協会の活動を、HPや広報、情報誌等を活用し、見える化を行う。	継続	・HPでの団体事業(活動)紹介数 2事業(総合文化祭、民踊のつどい) ※丹文協はFB有 ・広報での段階事業(活動)賞回数 0事業 ※丹文協は独自の広報誌有り	D	D	C	文化団体会員の高齢化等により、会員が年々減少している。情報の見える化を行い、多くの方に文化団体の活動をPRするために、HPなどを活用して広報活動を行う。		
	後継者育成に関する研修会・講演会の開催	■文化芸術活動の「魅力」を伝える等、各種団体への後継者育成に関する研修会・講演会を開催する。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※関係団体	●後継者の育成が喫緊の課題となっている文化協会、郷土民踊保存会の各理事会で課題を共有し、後継者育成のために必要な取組の具体化を図る。 ●団体の既存予算内で、後継者育成研修会等を実施し、会員のモチベーションアップを目指す。	継続	・文化協会常任理事会での協議回数 0件 ・郷土民踊保存協会会長会での協議回数 0回 ・後継者育成研修会の実施回数 未実施(文化協会) ・後継者育成研修会の実施回数 未実施(郷土民踊)	C	D	D	会員の高齢化等により、会員数の減少や後継者の育成が課題となっている。 後継者育成のために必要な研修や話し合いを進めていく。		
	文化芸術活動団体への支援	■文化芸術活動を行う団体への支援(補助)を継続的に行う。	文化・スポーツ課 ※文化・スポーツ課他	●芸術文化団体補助金等を適正に交付し、事務局としての支援を行う。	継続	・補助金交付団体/4団体/R3:4団体 ・負担金交付団体/1団体/R3:1団体	A	A	A	各団体が継続的・積極的に活動できるよう支援していく。		
	舞台運営オペレーターの育成	■舞台運営等を担うオペレーターの養成講座(全12回/年)を実施し、人材を育成する。	文化・スポーツ課	●舞台、照明、音響、フロアの4部門のスタッフを育成するため、技術職員が講師となって全12回の養成講座を実施する。	継続	・文化芸術に触れる機会として文化芸術体験講座「はじめの一步」としてオペレーター養成講座を2回実施した。前期講座全9回、後期講座全9回 1回目(前期) 2名受講 2回目(後期) 2名受講(R3:3名受講。短期型4名受講。) ・オペレータークラブZERO－Ⅳ入会/3名/R3:2名	A	B	B	舞台運営等を担うオペレーターの養成講座を実施し、人材育成に努める。		
	アマチュアアーティスト育成支援事業の推進	■アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓)について、継続して企画・運営を担える職員の育成を行う。	文化・スポーツ課	●ホール技術職員を含め、舞台サポートを中心に各フェスタを担当制で運営する職員体制を整える。 ●ホール技術職員は、知識と技術向上のための研修会を実施する。	継続	・フェスタ共通の事務職員1名/R3:1名 ・技術職員研修実施回数0回	B	D	C	アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓)について、研修を実施して、継続的に企画・運営を担える職員の育成を行う必要がある。		
	地域研究会への事業支援	■各地域の郷土史研究会・史実研究会等が主体的に活動できるための事業支援を行う。	社会教育・文化財課	●研究成果発表の場を提供するなど、活動の支援方法等を検討する。	継続	市島民俗資料館において、市島史実研究会の研究成果を展示した。	B	A	B	今後も、郷土史研究会等との連携、研究成果を発表する機会を提供できるように努める。		
基本方針② 文化芸術活動への参加促進を図る。	文化芸術活動の機会の提供	■丹波アートコンペティションを実施し、入賞者は植野記念美術館で展示する等、広く活動の場とモチベーション向上の機会を提供する。	文化・スポーツ課	●第4回丹波アートコンペティション入賞・入選作品展(春日文化ホール)と同日に新人賞受賞者展を植野記念美術館で行い、美術館と連携しながら、若者に作品展示の場を提供し、若手育成を行う。	継続	・新人賞受賞者展入館者数 206人/R3:337人(入賞作品展) ・入賞作品展期間中の美術館主催展覧会 入館者数88人/R3:105人	B	B	B	丹波アートコンペティション入賞・入選作品展と同時開催で、植野記念美術館で新人賞受賞者展を実施する。 今後も、美術館と連携しながら、若手作家の活動支援、若手の育成に努める。		
	若い世代を対象とした体験活動の機会の提供	■若い世代が気軽に参加できる機会を提供する。(アマチュアアーティスト育成支援事業バンドフェスタでのジュニアステージ等)	文化・スポーツ課	●若い世代や一般市民が参加できる企画を4フェスタ毎に検討し、実施する。 ・バンドフェスタ:バンドフェスタ25t ・ピアノフェスタ:みんなのピアノフェスタ2023 ・ダンスフェスタ:ダンスフェスタACT-21 ・和太鼓フェスタ:第21打! 和太鼓フェスタ ●ポスターデザインを募集し、フェスタを接点とした様々な文化芸術活動の交流の場づくりを行う。	継続	・バンドフェスタ:バンドフェスタ24rd/15バンド60名出演 ジュニアステージ(小学生～高校生以下)/11バンド41名 ・ピアノフェスタ:ピアノフェスタ2022 1部25名出演 2部37名出演 ・ダンスフェスタ:ダンスフェスタACTXX/9チーム127名 ・和太鼓フェスタ:第20打和太鼓フェスタ/6チーム69名 ・チラシポスターイラストデザイン画応募数7点(バンド1点、ピアノ2点 ダンス1点 和太鼓3点)	C	A	A	アマチュアアーティスト育成支援事業は、バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓とも小学生から高校生が出演しており、若い世代が気軽に参加できる機会が提供できいる。今後も継続してフェスタを実施していく。		
	市民主体で実施している取組への支援	■たんば青春俳句祭・田ステ女俳句ラリー等、市民が主体となって実施する文化的な取組がさらにまちづくりに繋がるように支援する。	市民活動課	●丹波市俳句協会が実施する、丹波市に関わる著名俳人を顕彰と俳句文化の振興、定着を図るための事業を支援する。 ・5月 田ステ女俳句ラリー、11月 たんば青春俳句祭の開催。(全国規模での俳句募集) ・市内小中高等学校での出張俳句教室。 ・会員、一般市民を対象とした俳句募集と表彰。 ・丹波の著名俳人を顕彰するため、俳人の紹介とその句碑、句碑マップのパネル作成し展示する。	継続	・第26回田ステ女俳句ラリー(5/8) ・第22回たんば青春俳句祭(11/5) ・出張俳句教室 延べ17校62回開催 ・俳句協会俳句募集 応募者数173人、投句数331句 ・会報誌「かたかご」の発行	D	C	B	現在、会計事務は会員にて行われているが、職員による事務支援は引き続き行っており、会員が主体性を持って活動できるように支援していく必要がある。		
	美術関連の講座の実施	■「友の会」との連携の中で美術関連の講座等を実施し、ガイドボランティア等の活動に繋げる。	植野記念美術館	●「友の会」の美術館めぐり研修の前に、事前研修として視察予定の展覧会の内容について鑑賞講座等を開催してガイドボランティア等の活動に繋げる。	継続	・美術館めぐりの研修自体は新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止 ・研修の代替案として、友の会の会員および一般来館者を対象として、春季「郷土の現代日本画展 親子の系譜」と秋季の「用と美 暮らしの中の文化財展」開催時に、担当学芸員による鑑賞講座(講演会)をあわせて2回行った。	D	B	B	研修旅行やガイドボランティア等の活動再開を検討する。学芸員は美術館業務と並行して自身の研究を行い専門性を深め、より魅力ある講座を開催する。		

基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

基本方針③ 団体同士の連携・ 協調を行う。	団体の交流の場づくりの推進	■文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	文化・スポーツ課	●文化芸術に特化したサロンや研修会を実施する。	継続	※未実施	D	D	D	文化芸術に関わる団体同士の交流の場がないため、交流の場を設け、そこから文化芸術活動を広げていけるよう検討する。
	展覧会等による利用促進	■春日文化ホールを展覧会の使用形態で無料開放し、分野を超えた団体が集う作品交流イベントを検討する。(仮称「丹波市文化芸術の日」事業)	文化・スポーツ課	●比較的貸館の少ない時期に春日文化ホールを展覧会の使用形態で無料開放する「丹波市文化芸術の日」として事業立案準備を進める。 ●丹波市美術作家協会等、市域で活動する文化芸術団体と協議し、丹波市文化芸術の日事業に対する理解を深める。	継続	・丹波市文化の日(無料開放)に関する協議 ※未実施 ・市域で活動する文化団体との協議 ※未実施	C	D	D	丹波市美術作家協会等、市域で活動する文化芸術団体と協議し、「丹波市文化芸術の日」事業に対する理解を深める必要がある。
基本方針④ 文化芸術を担う若手の芸術家の発掘・育成を行う。	文化芸術に関する交流の場づくりの推進	■文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	文化・スポーツ課	●文化芸術に特化したサロンや研修会を実施する。	継続	【丹波アートコンペティション関連事業】 ・アートスパイス 1回実施/R3:2回(現代美術、ドローイング)写真講座:令和4年12月18日(日) 参加者 8名 ・文化芸術講座「はじめの一步」 ①伝統芸能講座(丹波市音頭・黒井踊り)8月7日(日)春日文化ホール 講師 丹波市郷土民踊保存協会 参加者 10名	B	B	B	講座や講演会を通して、交流の場づくりを推進していく。広報、SNS等で周知し、多くの人の参加を促していく。
	若い活動者の発表・展示ができる環境の整備	■若手作家を紹介する仕組みや、作家のアトリエシリーズ等を企画する。	植野記念美術館	●「友の会だより」に若手作家や作家のアトリエを紹介する記事を掲載する。	継続	・「友の会だより」№52に「ヤマネコ」氏、№53に「山内清子」氏の紹介記事を掲載。	A	A	A	今後も「友の会だより」に若手作家や作家のアトリエを紹介する記事を掲載する。
基本方針⑤ 市の中心地域に文化芸術の鑑賞・活動を行うことができる施設の整備を図る。	文化ホールの施設整備	■春日文化ホールが使用不能となり、また、ライフピアいちじまが老朽化により建替えの必要が生じた際に、市の中心地域に新たに文化ホールの建設も含めた検討を行う。(丹波市生涯学習施設整備方針[適正配置計画]※平成25年2月策定)	文化・スポーツ課	●2ホールの適正な維持管理を行う。 ●備品購入、簡易な工事・修繕は、優先順位を決め、計画的に行う。 ●維持管理のために必要な保守点検業務は、分野ごとに一括発注する等、可能な限り合理化を図る。	継続	・機器設備の定期保守点検や、計画的な簡易修繕を実施し安定した施設管理を行った。 ・主な工事内容 光回線工事 ホールロビーダウンライトのLED化 【修繕】 ・春日 3件 ・いちじま 5件	A	A	A	定期的にホールの保守点検、点検による修繕を実施し、2ホールの適正な維持管理を行う。
	住民センターの施設整備	■「適正配置計画」に基づき、市民の日常的な生涯学習の場や地域づくり活動の場として、現行の施設の安定した維持管理を行う。	市民活動課	●利用者の安全のため住民センターの適正な維持管理を行う。 ●大規模な工事・修繕は、優先順位を決め、計画的に行う。 ●維持管理のために必要な保守点検業務は、分野ごとに一括発注する等、可能な限り合理化を図る。 ●予防保全を基本とし、設備等の更新を計画的に実施する。	継続	【工事・修繕】 ・工事7件 修繕103件 【保守点検等】 ・住民センターのほか、スポーツ施設や庁舎等の一部の保守点検業務について集約の上一括発注し、部全体として契約事務の効率化を行った。	B	B	B	各施設とも老朽化が進み設備等の不具合が多くなってきていることから、個別施設計画に基づき計画的に大規模改修、長寿命化工事を行っていく必要がある。 予防保全を基本として設備の更新を計画的に実施する。
基本方針⑥ 丹波市(県を含む)ならではの舞台芸術等に磨きをかける。	丹波市ならではの文化ホールイベントの開催	■本市の特徴的な分野やレベルに特化した取組をさらに進める。特にアマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド22回、ピアノ22回、ダンス18回、和太鼓18回)は「丹波市完全オリジナル企画」としてPR・開催する。	文化・スポーツ課	●各種後援や協賛、協力依頼を行い、丹波市完全オリジナルな部分である「アマチュアの出演者、舞台スタッフによる市民参画型のフェスタ」を全面的出した広域的な広報を積極的に行う。 【後援】丹波市教育委員会、丹波文化団体協議会、丹波市文化協会、丹波市音楽協会、丹波市観光協会、丹波新聞社、神戸新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、両丹日日新聞社 【協賛】藤本印刷㈱、(有)光陽堂楽器、(有)ロータリー楽器、㈱ハートラベル、㈱タンパンベルグ	継続	・広報物の充実/ポスターデザインを一般募集し、各フェスタの宣材物のオリジナリティを高め、公共施設に配布した。 ・後援実績/丹波市教育委員会、丹波市文化協会、神戸新聞社、丹波新聞社 ・協賛実績/藤本印刷㈱/R3:藤本印刷	A	A	A	アマチュアアーティスト育成支援事業など本市ならではのホール事業の実施、ポスター、チラシ、新聞、広報誌などのPR活動も引き続き行っていく。
	シューベルティアーデたんばの充実開催	■シューベルティアーデたんば(ガラ・コンサート)をより身近な取組として実施する。	丹波の森公苑	●シューベルティアーデたんば「ガラ・コンサート」を実施する。	継続	・ガラ・コンサート「オーボエと仲間たち」を令和4年11月19日(土)に田園交響ホールで実施。	D	A	A	・引き続き、丹波地域において優れた音楽を身近で鑑賞いただけるよう「ガラ・コンサート」を開催する。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった

令和4年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標3 子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

施策の方向性			関係課 (集約・報告)	令和4年度	令和4年度		評価			課題と今後の方向性
				取組内容	実施区分	取組結果・実績数値	R2	R3	R4	
基本方針① 普段の生活の中 で、子どもたちの 記憶に残るような 文化芸術鑑賞・活 動を行う。	プロの演奏家との共 演	■プロの演奏家を招き、子どもたち との共演を行う。(プロの演奏家＋市 内中学校吹奏楽部等の共演)	文化・スポーツ課	●R4年度で7回目となるブラック・ボトム・プラス・バンド公演を市内 中学校吹奏楽部とのコラボ演奏を行う。 ●公演前に、コラボ曲の演奏指導(ワークショップ)を行い、より充実 した内容で実施する。市民参画型事業。	継続	【県民芸術劇場BBBB】10月10日(月・祝) コラボ演奏(当日)/氷上中26名、市島中18名、計44名/R3:氷上中 14名、市島中23名 計37名 ・ワークショップ/コラボ演奏曲事前ワークショップ2回(上記2校各1 回)氷上中17名、市島中11名、計28名/R3:2回	A	A	A	優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会として、今後も継続 していく。また、プロの演奏家による演奏指導(ワークショッ プ)も継続して実施する。子供たちの記憶に残るような体験を 提供し、文化芸術に対する意識を高めていく。 毎年、同じ学校が出演しているので、他の学校にも打診し て、多くの人が交流ができるように検討する。
	アマチュアアーティ スト育成支援事業の推 進	■アマチュアアーティスト育成支援 事業の各フェスタ(バンド・ピアノ・ダ ンス・和太鼓)の取組を行う。	文化・スポーツ課	●若い世代や一般市民が参加できる企画を4フェスタ毎に検討し、 実施する。 ・バンドフェスタ:バンドフェスタ24t ・ピアノフェスタ:みんなのピアノフェスタ2022 ・ダンスフェスタ:ダンスフェスタACT-XX ・和太鼓フェスタ:第20打!和太鼓フェスタ	継続	・バンドフェスタ24rd/15バンド60名出演 入場者1部265名、2部 268名 /R3:無観客で実施(ライブ配信)20バンド67名出演 閲覧者194人 ・ピアノフェスタ2022 1部25名出演 入場者154名 2部37名出演 入場者217名 R3/1部26人出演 入場者105人(※事前申込) 2部36人出演 入場者156人(※事前申込) ・ダンスフェスタACTXX/9チーム127名 1部 入場者306人 2部 入場者348人 /R3:1部3チーム35名 入場者120名(※事前申込) 2部3チーム45名 入場者176名(※事前申込) ・第20打和太鼓フェスタ/6チーム69名 入場者444名 R3:無観客で実施(ライブ配信)3チーム25人出演 閲覧者362人 ※新型コロナウイルス感染症の拡大によりバンドフェスタ、和太鼓 フェスタは無観客(Youtube配信)	A	A	A	アマチュアアーティスト育成支援事業は、若い世代が参加 し、出演者と裏方スタッフがいっしょにこの事業を作り上げて いくので、身近で鑑賞しやすい環境ができています。 R3年度もコロナ禍で、無観客で実施したフェスタもあるが、新 しい試みとしてライブ配信を行った。 今後も、若い世代や一般市民が参加できる4フェスタを継続 して行う。
	子ども・若者対象のイ ベントの開催	■高校生企画(卒業ライブ)、ライブ ピアDEクリスマス、0歳からのコン サート等、幼児から若者対象の取組 をさらに進める。	文化・スポーツ課	●子どもや若い世代を対象としたイベントを充実する。 ・高校生企画:卒業ライブ1事業 ・ライブピアDEクリスマス:クリスマスコンサート1事業	継続	・高校生企画「卒業ライブ」1事業/3月21日(火・祝) 来場者292人 出演12組(50人) ・ライブピアDEクリスマス「クリスマスコンサート」1事業/12月25日 (日) 来場者413人	B	B	B	高校生企画、出演「卒業ライブ」と子どもを対象とした「クリ スマスコンサート」は毎年実施し、定着しており、一定の効果を 上げている。 0歳からのコンサート等も実施できるよう検討していく。 また、若い世代が興味を持って参加できるような取組を考え る。
	シューベルティアー デたんばの充実	■シューベルティアーデたんば(街 角コンサート)の充実を図る。	丹波の森公苑	●シューベルティアーデたんば「街角コンサート」を実施する。	継続	・街角コンサート実施会場6会場(丹波市4会場、丹波篠山市2会場) で実施	D	C	B	・引き続き、丹波地域の方々に本物の音楽を身近で体感い ただけるよう「街角コンサート」を丹波地域10会場で開催する ことを目標に取組を進めていく。
	美術館の団体観覧の 充実	■学校単位の団体観覧だけでなく、 PTA・子ども会行事等での観覧機会 を増やし、学びの場を提供する。	植野記念美術館	■学校単位の団体観覧だけでなく、PTA・子ども会行事等での観覧 機会を増やし、学びの場を提供する。	継続	・学校単位の団体観覧数 25件 ・PTA観覧数 0件 ・子ども会等団体鑑賞数 0件 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により事業縮小	B	B	B	来館型鑑賞教室の広報を行うという、非来館型の鑑賞教室 について研究を行う。
	伝統文化や伝統芸 能への子どもが参加 できる環境整備	■地域づくり事業を通じて、伝統文 化や伝統芸能の継承を行い、子ども たちが積極的に参加できるよう、地 域との関わりをさらに充実させる。	文化・スポーツ課 ※各団体 ※各地域	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	継続	・団体や地域を対象としたアンケート調査による実績集約 ※未実施	D	D	D	伝統文化、伝統芸能を子どもたちに継承できるような取組を 考える必要がある。
基本方針② 学校教育で、優 れた文化芸術に身近 に触れ、感じる力 (まごころ・愛着・ 想像力・創造力)を 育む。	アーティストの学校へ の派遣	■シューベルティアーデたんば等で 学校へのアーティストの派遣をさら に充実させる。 小学生:ふるさと音楽ひろば 中学生・高校生:キン・コン・カンコン サート	丹波の森公苑	●シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」「キン・コン・カ ンコンサート」を実施する。	継続	・ふるさと音楽ひろばを丹波地域の小学校9校で実施(丹波市内5 校、丹波篠山市内4校) ・キン・コン・カンコンサートを丹波地域の高等学校1校で実施(丹波 市内1校)	B	A	A	・引き続き、丹波地域の子どもたちに本物の音楽を身近で体 感いただけるよう「ふるさと音楽ひろば」「キン・コン・カン・コン サート」を開催していく。
	子どもの音楽体験教 室・鑑賞事業の実施	■文化庁による「文化芸術による子 供の育成事業(芸術家の派遣・巡回 指導)」を活用するとともに、中学生 を対象とした「わくわくオーケストラ教 室」に取り組む。	学校教育課	●文化庁による「文化芸術による子供 の育成事業(芸術家の派遣・巡回指 導)」を活用するとともに、中学生を 対象とした「わくわくオーケストラ教 室」に取り組む。	継続	・文化庁「文化芸術による子供の育成事業実施校 市内小・中学校 2校 (R3:6校) ・わくわくオーケストラ実施校 市内中学校7校 (R3:6校)	D	B	B	・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた 日程を大幅に変更せざるを得ない学校もあったが、無事年 度内に実施・参加することが出来た。 ・文化庁の事業については、今年度は2校のみの実施となっ た。コロナの影響もあつてか希望する学校が減っているよう に感じるため、事業の活用率を上げる工夫が必要と考える。
	ふるさと教育の充実	■たんばふるさと学(生活科・総合 的な学習の時間等)の充実を図る。	学校教育課	●学校支援コーディネーターを中心に、各小学校で実施時期や方 法を工夫し、実施する。 ・地域のゲストティーチャーから「ふるさと の良さ」を学ぶ。	継続	【工夫した取組】 ・コロナ禍ではあったが、各校で実施時期や内容を工夫しながら地 域人材が活躍できる場面を設定することができた。社会科学習と連 動しながら総合的な学習の時間を中心に、地域の伝統芸能や祭り、 歴史等についてゲストティチャーから学ぶ機会をえることができた。 【指標】 ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがあります か。39.1% (R3:。45.9%) ※R3より質問項目が変更されたため	B	B	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業 の時期や内容の変更を余儀なくされた学校が多かった。た だ、実施方法を工夫しながら実施できた学校もあった。地域 の祭りなどの行事が例年通りに実施できないことが、児童生 徒の意識に影響していることも予想される。新しい取組方法 を検討する。
	社会科副読本を活用 した地域学習の充実	■社会科副読本(わたしたちの丹波 市)を活用し、社会科学習において 地域学習の充実を図る。	学校教育課	●副読本を活用するとともに地域にある伝統芸能、歴史、文化等、 文化芸術を題材とした学習内容を充実させる。	継続	・地域の伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術の学習に副読本を活 用した小学校 22校 (R3: 22校) ・小学校4年生において地域の伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術 に関わる授業を行った時間数 12時間 (R3: 12時間)	B	B	B	・令和2年度に、社会科副読本を全面改訂しており、本市の 現状にあった学習内容を学ぶことができるため、副読本の 内容をより効果的に指導していくための教職員の指導力向上 を図っていく。 ・子ども向け市勢要覧「知っとっこお!丹波市ハンドブック」も 活用しながら、地域の伝統芸能、歴史、文化に係る授業内容 を充実させる。

基本目標3 子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

基本方針③ 子育ての過程で、親子で文化芸術に親しむために取組を進める。	文化芸術と子育てに関する研修会・講演会の開催	■子育てをする上で「文化芸術の鑑賞等が非常に大きな力となる」ことを伝える研修会・講演会を開催する。	文化・スポーツ課 ※子育て支援課	●文化芸術に特化したサロンや研修会を実施する。 ・子育て世代対象サロン:①10月:子育て世代 ②11月:子育て世代	継続	※未実施	D	D	D	子育てをする上で「文化芸術の鑑賞等が非常に大きな力となる」ことを伝えるための研修会や講演会を実施を検討する。
	親子で参加し交流できる場づくりの推進	■20代～30代の子育て世代が子どもと一緒に交流できるような文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	文化・スポーツ課 ※子育て支援課	●文化芸術に特化したサロンや研修会を実施する。 ・子育て世代対象サロン:①10月:子育て世代 ②11月:子育て世代	継続	・子育てアートサロン「親子で楽しむふれあいコンサート」2回実施 3/2 氷上地域 親子25組51名(市民プラザ) 3/10柏原地域 親子28組58名(丹波の森公苑 多目的ルーム) R3:12/18 青垣住民センター 親子12組41名 3/23 やまなみホール 親子12組24名	B	B	A	20代～30代の子育て世代のお母さんが子どもと一緒に交流できる場ができた。今後も音楽コンサートで、子どもや若い世代が文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、親子で文化芸術を体験できる機会も検討していく。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった

令和4年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標4 観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

施策の方向性			関係課 (集約・報告)	令和4年度			令和4年度		評価			課題と今後の方向性
				取組内容			実施区分	取組結果・実績数値	R2	R3	R4	
基本方針① 伝統芸能・伝統文化等の保存・継承・活用を行う。	保存・継承に対する理解の促進	■若い世代へ祭り等の意義等を伝承し、保存・継承を行う。	文化・スポーツ課 ※関係団体 ※各地域	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	継続		継続	・団体や地域を対象としたアンケート調査による実績集約 ※未実施	D	D	D	若い世代へ祭り等の意義等を伝承し、保存・継承を行うための取組を検討する。
	地域への参画	■職員自らが一人の市民として積極的に地域に参画・貢献する。	文化・スポーツ課 ※市職員	●常勤一般職員を対象としたアンケート調査による集約				【職員アンケート】・年度内に地域の事業等へ参加した職員数（常勤一般職） ※未実施	D	D	D	職員自らが一人の市民として積極的に地域に参画・貢献できるような取組を検討する。
	伝統芸能・伝統文化の活用	■若い世代が参加しやすい環境の整備を行い、伝統的な芸能や文化を大切に活用する。	文化・スポーツ課 ※各種団体 ※各地域	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約				・団体や地域を対象としたアンケート調査による実績集約 ※未実施	D	D	D	若い世代が参加しやすい環境の整備、伝統的な芸能や文化の活用について検討する。
	伝統芸能・伝統文化の観光資源としての活用	■伝統芸能・伝統文化等の魅力に磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	●市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる観光パンフレット（「道の駅からのよりみち旅」）を制作し、配架（観光課） ・丹波市観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信 ・丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信				・観光パンフレット「道の駅からのよりみち旅」を観光情報センターや高速SAに配架した。 ・観光サイト「SaturdayTamba」のHP記事は約月2件、インスタは通常は約週1件、11月は約週4件で更新しており、フォロワー数は年度開始時約2,600から年度終了時に約3,200に増やすことができた。 ・丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信を行った。	B	B	B	・さらに市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる仕組みを構築する。 ・多様な情報発信手段は必要であり、SNS、HP、紙媒体の発信を継続する。より効果的な発信とするためにはフォロワーを増やすこと、HPはサイトビュー数を増やすことが課題である。
基本方針② 文化財（技術を含む）の保存・継承・活用を行う。	文化財等の保存・継承・活用	■文化財等を積極的に活用することで、保存・継承に繋げる。	社会教育・文化財課 ※各地域	●歴史文化遺産を次世代に継承していくため、古文書などの歴史資料の調査を行う。	継続		継続	・歴史資料調査実施数 7件／R3:13件	A	A	A	今後も継続して古文書などの歴史資料の調査を行う。
	文化財等の観光資源としての活用	■文化財等の魅力に磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	●丹波市観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信 ・丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信 ・お城EXPO（於：横浜市）に出展し、主に黒井城跡を全国に発信				・観光サイト「SaturdayTamba」のHP記事は約月2件、インスタは通常は約週1件、11月は約週4件で更新しており、フォロワー数は年度開始時約2,600から年度終了時に約3,200に増やすことができた。 ・丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信を行った。 ・お城EXPO（於：横浜市）でパンフレット1000部（黒井城跡等）を配布した。	B	B	B	・多様な情報発信手段は必要であり、SNS、HP、紙媒体の発信を継続する。より効果的な発信とするためにはフォロワーを増やすこと、HPはサイトビュー数を増やすことが課題である。 ・黒井城だけでなくその他の城跡も観光資源として情報発信する。
	文化財等を活かした作品等の集積・展覧	■丹波布や稲畑人形等の文化財を活かした特徴ある展覧会を企画し、保存・継承へと繋げる。	社会教育・文化財課 ※関係団体	●文化財を活かした企画展を開催する。	継続		継続	企画展 柏原藩陣屋跡 1回／柏原歴史民俗資料館 2回 ミニ企画展1回 /春日歴史民俗資料館 ミニ企画展1回	B	B	A	兵庫県立歴史博物館や神戸大、美術館との連携により企画展を開催することができた。
	資料館の整理統合	■水分け資料館のリニューアルの実施、並びに各資料館の整理統合と併せて、市内に点在する文化財等の保存の充実を図る。	社会教育・文化財課	●資料館統合に向けての民具の目録作成を行なう。				春日歴史民俗資料館の民具調査。	A	A	B	春日歴史民俗資料館は、次年度に目録を作成する予定である。
	文化財保護の意識高揚	■歴史遺産を残していくために、市民の関心や保護意識の高揚を図る事業を展開する。（文化財保存活用地域計画の策定等）	社会教育・文化財課	●市民に対し、身近な地域の歴史遺産に触れる機会を提供する。 ・調査結果に基づく歴史講座の開催 ・企画展関連講座の開催 ●文化材保存活用理域計画策定に向けた検討・調査を進める。	新規		新規	・歴史講座開催及びYoutube動画配信数6回（7月・9月・10月・11月・2月・2月）/6回 ・考古学講座 1回 ・企画展関連した講演会も開催した。 ・美術工芸品調査を実施した。	B	B	A	・歴史講座は、新規の参加者を増やせるように興味をひくようなテーマも取り入れる。 ・企画展関連の講座や講演会を企画していく。
	文化財等の保存・整備事業への支援	■文化財等の保存・整備に対する補助金交付施策の充実を図る。	社会教育・文化財課	●指定文化財保存整備事業を実施する。				・指定文化財保存整備等の補助事業数 3事業／R3:2事業	D	B	B	新型コロナウイルス感染症の影響が薄まりつつあるため、次年度は補助対象事業が増える見込みである。

基本目標4 観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

基本方針③ 文化的資源を新たに発掘・活用する。	文化的資源の観光資源としての活用	■新たな文化的資源を発掘すると共に、磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	●市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる観光パンフレット(「道の駅からのよりみち旅」)の時点修正、増刷し、配架(観光課) ●「丹波巡礼の旅」の事業により、観光資源の発掘と磨きをかけるとともに市内周遊を促す。(丹波市観光協会)	継続	・観光パンフレット「道の駅からのよりみち旅」を時点修正をし、観光情報センターや高速SAに配架した。 ・「丹波巡礼の旅」の新たなモデルルートを策定して、計15ルートとなり、新たな観光資源として磨き上げた。	B	C	C	・さらに市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる仕組みを構築する。 ・「丹波巡礼の旅」は令和4年度で終了するため、別の観光資源を発掘・磨き上げる必要がある。
	歴史的な建物等の活用	■歴史的な建物や街なみを活用したアート展等の開催を検討する。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	継続	・団体や地域を対象としたアンケート調査による実績集約 ※未実施	D	D	D	地元の方や関係団体がどのようなことを望まれているかなどを聞いて、どう進めていくかを検討する必要がある。 柏原や青垣地域など歴史的な建物や街なみを活用したアート展などを開催できるよう、地元の方や関係団体との話し合いが必要がある。
	文化的資源の学習機会の検討	■気軽に文化的資源を観ることができ学習機会を企画・検討する。	市民活動課 ※市民活動課他	●TAMBAシニアカレッジ教養講座を、植野美術館で開催する。	継続	・TAMBAシニアカレッジラジオ教養講座において「氷上回廊と水切れ」を題材に丹波の歴史についての講座を開催した。(11/9) ・丹波布伝承館事業として以下の体験教室を開講した。 ・丹波布短期体験教室(9/15～9/19) ・糸紡ぎ体験、織り体験 延88人	D	B	B	・引き続き、TAMBAシニアカレッジ等の各種講座において文化芸術等に触れる機会を提供していく。 ・市の無形文化財である「丹波布の技術」を市内外にPRするとともに、気軽に参加できる体験教室を開催し、丹波布伝承館への来館者増を図る。
	文化的資源の情報提供の仕組みの検討	■市民リポーターから文化的資源(景観・祭り・人等)の情報提供を得る仕組みを検討する。(例:インスタ映えスポット)	総合政策課 ※総合政策課他	●市民リポーターに文化的資源(景観・祭り・人等)の情報の提供を依頼する。	継続	・リポーターによる丹波「花めぐりリレー」をはじめ、年間を通じ、市内の景観や名所、植物など情報提供数67件をFacebookで情報配信。	B	B	B	市民リポーターからは継続的に地域性や季節に合わせた情報提供を受けているが、若者世代を中心に広い年代をカバーするため、高校生や大学の学生リポーター枠の導入検討が必要である。
	芸術家・文化人の顕彰	■ゆかりの深い芸術家・文化人の作品展示や活動紹介等により顕彰を行う。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	継続	・団体や地域を対象としたアンケート調査による実績集約 ※未実施	D	D	D	アーティスト、地元の方や関係団体がどのようなことを望まれているかなど声を聞いて、どう進めていくかを検討する必要がある。 芸術家、文化人を顕彰するとともに、まちづくりもいっしょに進めていけるような取組を考える。
基本方針④ 情報発信を積極的に行う。	ビデオを活用したプロモーションの実施	■ビデオ媒体を活用し、本市の多様な文化芸術のPRを行う。	文化・スポーツ課	●文化芸術推進プロモーションビデオ等を各住民センター、美術館、資料館等で放映する。	継続	・文化芸術推進プロモーションビデオに加え、ホール事業のPRビデオを随時放映。	A	A	A	文化芸術推進プロモーションビデオに加え、ホール事業のPRビデオを随時放送している。 ホール事業のPRビデオについては、新しい映像に更新していく必要がある。
			観光課	●前年度から継続して柏原一番館、観光課で放映し、併せてYouTubeでも掲出を継続する。 ●丹波市観光プロモーション映像をYouTube広告を掲出する(40,000回) ●新設した道の駅丹波おばあちゃんの里(観光情報センター)で動画を放映。	継続	・丹波市観光プロモーション映像、黒井城跡の紹介映像を、「道の駅」丹波おばあちゃんの里の新設した観光情報センター、柏原一番館で放映。また、丹波市のYouTubeに全種類(日本語版、英語版)の映像を掲出。 ・丹波市観光プロモーション映像をYouTube広告に掲出した(視聴数約75,800回)	B	A	A	・YouTube広告はターゲット(京阪神地域在住者)を絞ることができる、また、興味のある人のみ視聴されるというメリットがあり、普段は本市に興味が無くても、新たに丹波市の関係人口となっていただけの可能性が、効果的だと考える。
	情報発信手段の検討	■新たな情報発信手段を検討する。	丹波市:総合政策課、文化・スポーツ課、観光課他 丹波市教育委員会:植野記念美術館、社会教育・文化財課	【総合政策課】 ●広報たんば、市ホームページ、SNS、防災行政無線放送、FM805たんば、報道関係者への資料提供で情報発信する。	継続	【総合政策課】 ・広報たんば、市ホームページ、SNS、防災行政無線放送、FM805たんば、報道関係者への資料提供で情報発信。 ・情報提供の方法について、データ提供を行うためメール配信の試行を開始した。	B	B	B	次期ホームページCMS更新に向け、SNS連携など多彩な配信に対応するため、各社CMSやSNS連携の開発例をもとに本市が求める仕様を定める。
				【文化・スポーツ課】 ●Youtubeによる丹波アートコンペティションネットギャラリー動画配信。		【文化・スポーツ課】 ・Youtubeによる丹波アートコンペティションネットギャラリー動画配信。	A	A	A	引き続き、丹波アートコンペティションでも「ネットギャラリー」として、動画配信を行う。 ホール内の光回線工事を行い、ネット環境と整え、無観客でもネット配信できる環境ができたので、情報発信を積極的に行う。
				【観光課】 ●観光サイト「SaturdayTamba」のInstagramで、ほぼ毎日のペースで丹波市の情報を発信。		【観光課】 ・観光サイト「SaturdayTamba」のInstagramで、ほぼ毎日のペースで丹波市の情報を発信。	B	B	B	・多様な情報発信手段は必要であり、Instagram等のSNSの発信を継続する。より効果的な発信とするためにはフォローワーを増やすことが課題である。
				【植野記念美術館】 ●美術館や展覧会の展示作業等を紹介する映像を制作し、YouTubeにアップする。		【植野記念美術館】 ・丹波市及び丹波市教育委員会のYoutubeによる展覧会の紹介等の動画配信 ・動画の更新時に教育委員会LINEでも告知 ・学芸員が展覧会内容等をFM805で放送	B	B	B	【植野記念美術館】 今後も本市及び本市教育委員会のYoutubeによる展覧会の紹介等の動画配信するとともに様々な手法で告知を行い、再生回数増加を図る。
				【社会教育・文化財課】 ●講座の動画配信を行なう		【社会教育課・文化財課】 ・歴史講座の動画配信	B	A	A	【社会教育課・文化財課】 ・動画配信を継続する予定である。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった